



「たがもんを
もっと活用して！」

多賀城発で多賀城着。ヒトコトモノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のため
に何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



中学生が考える 「多賀城活性化プラン」

古代米をもっと
知ってもらおう



「おもしろくて、分かりやすい待ちあわせスポット
をつくったらよいのでは」「『たがもん』をもっと活
用したい」。7月5日(水)、第二中学校の3年生の
授業で多賀城のまちづくりにつ
いての発表会がありました。

多賀城が舞台の
アニメをつくる

第二中学校では、将来の多賀城をよりよくするた
めに多賀城市に提案することを目標に、1年生の時
から「総合的な学習の時間」で多賀城の歴史・観光
などに関する調査や、他の地域(仙台や東京)の事
例を見聞きする学習を行っています。今回は、修
学旅行の自主研修での学びとこれまで調べたこと

を班ごとにまとめて、多賀城をもっと盛り
上げるためのプランを発表しました。

ネットで
広げる

今後は秋に行われるまとめの発表会に向けて、さ
らに調査や話しあいを進めていくことになってい
ます。中学生のみなさんの考えや思いが、どのよ
うな提案にまとめられるか、今から楽しみです。

こんなプランもありました！

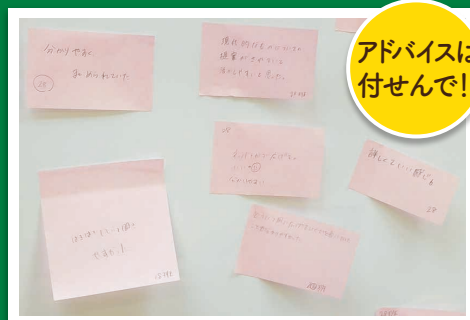
- 多賀城が舞台のアニメをつくり、出てくる場所を巡ってもらう
- 多賀城駅周辺で、史跡のことを知ってもらうイベントを行う
- 駅と史跡をつなぐバスを運行する
- 古代米など、特産品を知ってもらうきっかけをつくる



発表を
聞き合う



発表前の
確認！



アドバイスは
付せんで！

4～5人で構成された33の班が、テーマご
とに6つの教室に分かれて発表を聞き合いま
した。うなずいたり、メモを取ったりと参考
になった部分もあったようです。

1つの班の発表が終わるごとに、付せんにア
ドバイスや感想を書き込みます。次に発表す
る班は最後の確認中。

付せんは模造紙に貼られ、各班に渡されまし
た。ここでのアドバイスも今後の取り組みに
つなげます。



ヒント from “たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● **いろいろな視点でまちを発見！みやぎスリパチサロン** 2017年
6月15日(木) 掲載
地形に着目した講座などを通して、身近な宮城・仙台を知りながら、住み
たいまち、誰かに教えたいまちになることを目的に開催しています。

● **おとなに支えられる「こども食堂」** 2017年6月29日(木) 掲載
地域の子どもの居場所づくりを行っている団体をつなぐ「旭川おとな食堂」。
企業と連携し、旭川市内のこども食堂に食材を届ける活動も行っています。

● **輪転機で写真入り原稿をうまく印刷するには？** 2017年
7月11日(火) 掲載
原稿の写真が真っ黒になってしまうことはありませんか？写真の撮り方と輪転
機の印刷設定を工夫することで、写真が見やすく印刷できる方法をご紹介します。



たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

情報発信連続講座「伝わる広報」

参加者
募集

「何をどのように発信したら、多くの人の心に残るのだろうか？」「印象に残るよ
うなチラシをつくりたい」「SNSを効果的に使うには？」このような悩みを持っ
ている方に朗報！たがさぽでは、情報発信に関する連続講座を開催します。
「広報の目的を達成するために、何をどのように発信したらよいか」を軸に、
内容や対象に応じた発信方法を学びます。情報発信について悩んでいる方、地
域の魅力を発信したいと考えている方、ぜひご参加ください！

テーマ 日時	・「広報基礎講座」 2017年9月29日(金) 午後6時30分～午後9時 ・「チラシづくり講座」2017年10月6日(金) 午後6時30分～午後9時 ・「SNS活用シェア会」2017年10月13日(金) 午後6時30分～午後8時30分
会場	多賀城市市民活動サポートセンター
定員	各回20名(要事前申込/先着順/3回ともご参加の方を優先)
参加費	各回500円
申込み	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

“たがさぽPress”とは？



たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたら
たがさぽPressへ！＊ケータイ、スマホからご覧いただけます。





地域に“より、そう”活動を

企業のCSR活動を知る——「東北電力株式会社」

東北六県及び新潟県に電力やガスを供給している東北電力株式会社。今回は、多賀城及びその周辺の施設や営業所が取り組んでいる地域貢献活動をご紹介します。

エネルギーの大切さを伝える

現時点で日本一新しく、世界最高水準の発電効率で県内の電気の約40%を供給している新仙台火力発電所。2016年から多賀城市で行っている活動について、運営企画グループ副長・五十嵐義昭さんと発電グループの荒川威史さんにお話を聞きました。

新仙台
火力発電所
の取り組み

多賀城市で地域貢献活動をはじめたきっかけを教えてください

「2015年に決定したコーポレートスローガン『より、そう、ちから。』のもと、当社ではさまざまなCSR活動を行っています。こちらの発電所では、立地上近いこと、また多賀城市在住の社員も多いことから、多賀城市を中心に環境保全や、減災を含めた安全・安心に関する取り組みを行っています」

具体的にはどのようなことに取り組んでいますか？

「今年から多賀城市主催の減災見学会の見学先に加えてもらい、小学生のみなさんに最新の技術や災害への備えについて知ってもらうことができました。また、市内の保育所や児童館で行った『緑のカーテン』づくりは、日かげの涼しさから省エネルギー対策を身近に感じてもらうために取り組んでいます。今後は、親子でエネルギーについて学べるイベントの開催も考えています」

減災や環境保全の取り組みを行っている理由を教えてください

「先に挙げた取り組みなどを通してエネルギーや環境保全の大切さを知り、市民のみなさんが何らかの形で省エネルギーに取り組むきっかけになってほしいと思っています。また減災に関しては、津波被害の経験を踏まえて行った災害への備えを知ってほしいです」



7月25日(火)に開催した減災見学会。最新のガスタービンを見学するなど発電のしくみを学びました。一般の方の見学もできるそうなので、詳しくはお問い合わせください。



環境保全の活動として、社員による海岸清掃にも取り組んでいます。(写真は、今年の6月に約60人の社員で活動した時の様子)



八幡保育所での「緑のカーテン」づくり。子どもたちにゴーヤとアサガオの種を植えてもらいました。

地域の防犯に一役！地域に街路灯を寄贈

塩釜市・多賀城市・松島町・利府町・七ヶ浜町の二市三町エリアなどを担当している塩釜営業所。1965(昭和40)年から地域社会の明るいまちづくりに向けた取り組みを支援するために、自治体や防犯協会、町内会と連携して防犯街路灯を寄贈しています。

灯具寄贈は東北電力(株)、取り付け工事は(株)ユアテックが担当。1988(昭和63)年以降、多賀城市には235灯の防犯街路灯が寄贈されています。東日本大震災後は復旧作業優先のため一時中断しましたが、2014(平成26)年より寄贈を再開し、地域の復興と発展を応援しています。

塩釜
営業所
の取り組み



街路灯の贈呈の様子。長い間にわたって、多賀城の地域防犯に貢献しています。

東北電力株式会社 新仙台火力発電所 住所：仙台市宮城野区港5-2-1 電話：022-366-1331

東北電力株式会社 塩釜営業所 住所：多賀城市鶴ヶ谷1-11-1

用語解説

「CSR」とは？

「Corporate Social Responsibility」の略で、日本語では「企業の社会的責任」のこと。企業が社会の一員として社会のルールを守り、社会の持続的発展に貢献しながら、企業活動を続けていくことを指します。



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします！
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>